

1. 件名：「国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 HTTR 原子炉施設の新規制基準への適合性の確認に関する事業者ヒアリング（218）」

2. 日時：令和2年12月16日（水）13時30分～14時10分

3. 場所

（1）原子力規制庁10階南会議室

（2）国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

※ 本ヒアリングは、テレビ会議にて実施

4. 出席者

（1）原子力規制庁 原子力規制部

新基準適合性審査チーム

榎見安全審査官、荒川安全審査官、石島技術参与

（2）国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

安全・核セキュリティ統括部 安全・核セキュリティ推進室 担当者

大洗研究所 高温工学試験研究炉部 部長 他4名

建設部 施設技術課 担当者

5. 議事要旨

（1）国立研究開発法人日本原子力研究開発機構（以下「原子力機構」という。）から、大洗研究所（北地区）のHTTR原子炉施設の設計及び工事の方法の認可（以下「設工認」という。）申請（第4回）^{※1}に係る審査会合^{※2、3}における指摘事項及びその後のヒアリングにおける確認事項に対する回答について、配付資料に基づき、主に以下の説明があった。

- 耐震性のうち配管のスペクトルモーダル解析が一部終了し、発生応力の評価値は許容応力を下回る結果となっている。
- 多量の放射性物質等を放出する事故の対応に備え、保有資機材を適切な場所に分散配置した。

（2）原子力規制庁から、残りの配管のスペクトルモーダル解析の結果についても準備が整い次第説明するよう伝え、原子力機構から了解した旨の回答があった。

6. 配付資料

（1）原子力機構からの配付資料

資料1 HTTRの設工認 第4回申請（R2.3.30）の耐震性・波及的影響の評価に係る記載の見直しについて

資料2 HTTRの設工認 第4回申請（R2.3.30）のBDBAに係る記載の見直しについて

※1 [日本原子力研究開発機構からHTTR（高温工学試験研究炉）の変更に関する設計及び工事の方法の認可に係る申請（第4回申請）を受理（令和2年3月30日ホームページ掲載）](#)

※2 [第353回核燃料施設等の新規制基準適合性に係る審査会合](#)

※3 [第365回核燃料施設等の新規制基準適合性に係る審査会合（合同開催）](#)